

**獨協大学
×
小野町谷津作行政区**

獨協大学こまち「大地の泉」つながるプロジェクト



1. 地区の概要と課題

・谷津作行政区の概要



- ・位置：小野町の真ん中に位置
- ・人口：980人

・昨年度までの活動

- ・オンライン（Zoom）でのミーティング
- ・現地調査（観光資源や源泉の視察、現地の方との交流会）
- ・神輿祭りへの参加など

・谷津作行政区の課題

- ・地域における人と人とのつながりが希薄になっている
- ・源泉活用上の課題

2.今年度実施した取り組みの内容

・オンラインミーティング

- 6月、8月、10月、12月に実施
- 活動内容や現地調査の振り返りなどを行った

・現地訪問

- 8月31日～9月1日と10月12日～13日に2回実施
- 第1回：源泉や東堂山、キャンプランドなどを視察
源泉を活用して温泉卵の試作、足湯体験
神輿祭り関係者の方々との意見交換会
- 第2回：八雲神社の例大祭（子ども神輿）に参加
ビンゴ大会の開催・運営補助



2.1. 現地調査の内容

現地調査①

8月31日
9月1日

新メンバー加入を受けて実施。諏訪神社などの観光資源や、源泉、温泉神社の視察や現地の方との交流会を行った。現地の様子を見ることで、現地の様子をより深く理解することができた。



現地調査②

10月12日・13日

10月13日の八雲神社の例大祭に参加。神輿の補助や装飾、片付けとビンゴ大会の運営補助を行った。実際に参加し地域の皆様と一緒に楽しむことでより深いつながりを実感することが出来た。



3. まとめ

➤ 地域とのつながりが深まり、源泉活用に実際に取り組むことができた

課題	・ 住民同士のつながりが希薄で、町の担い手となる若者が減少している ・ 源泉活用に関する様々な問題が存在している
やりがい	・ 小野町の雰囲気や様子を身をもって知ることができた ・ 地域の皆様と関わりを持つことができた ・ 地域のイベントに参加することで、お互いを知るきっかけになった
発見	・ 地元の方々が地域の祭りを楽しみにしてくれていると知ることが出来たこと ・ 源泉の活用方法を見つけることが出来たこと
評価の 高かった 取り組み	・ 源泉を活用した温泉卵と足湯の体験 ・ 10月13日の例大祭（子ども神輿）

4. 今後について

来年度の活動

- ・ 未定（任期満了のため）



今後について：新たな形でつながりを維持していく方法を模索する
八雲神社の例大祭を継続して、地域のつながりを強固にする
今年度取り組んだ源泉活用法を地域の方に体験していただく

・ 現時点でのアイデア

- ・ 源泉の温泉水を活用して流しそうめん、温泉卵作りを行う
- ・ 温泉水を足湯やプールに活用する など

